

サイコウ、解剖学！～かたちを見る、知る、活かす～

The 128th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists

第128回日本解剖学会総会・ 全国学術集会

会期：2023年3月18日(土)～20日(月)

会場：東北大学川内北キャンパス (総会・学術集会)
仙台国際センター (市民公開講座)

会頭：大和田 祐二
(東北大学大学院医学系研究科 器官解剖学分野)

副会頭：出澤 真理
(東北大学大学院医学系研究科 細胞組織学分野)

笹野 泰之
(東北大学大学院 歯学系研究科 顎口腔組織発生学分野)



The 128th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists

第128回日本解剖学会総会・全国学術集会

» HOME

» ご挨拶

» 開催概要

» プログラム

» 公募シンポジウム募集

» 演題登録

» 演題採択一覧

企画・指定シンポジウム

下記は現在までの予定です。

変更の可能性がありますことを予めご承知おきください。

大会企画シンポジウム

「グリア微細形態ダイナミズムから読み取る脳と心の機能の全身性」

オーガナイザー：松井広（東北大学）、田中謙二（慶應義塾大学）

「放射光が照らす解剖学の未来予想図」

オーガナイザー：権田幸祐（東北大学）、西堀麻衣子（東北大）

「プリオン病を知り、備える」

オーガナイザー：堂浦克美（東北大学）、弦本敏行（長崎大学）

シンポジウム概要

■ シンポタイトル：放射光が照らす解剖学の未来予想図

■ 狙い：現在、東北大学青葉山新キャンパス内にて、2024年度の運用開始に向けて次世代放射光施設「ナノテラス」の整備が進められています。本シンポジウムでの演者は、ナノテラスの新しい光を活用し、ライフサイエンスの新領域開拓に寄与可能な細胞や組織のイメージング技術の開発や応用を進めています。本シンポジウムでは、放射光を含むX線イメージングを解剖学へ展開してきた各講演者の事例を紹介し、解剖学の未来を放射光は明るく照らすことができるのか、その可能性や課題を考えたいと思います。

■ 日時：2023年3月19日（日）9:00-11:00

■ 会場：東北大学川内北キャンパス

■ 座長：権田幸祐、西堀麻衣子

■ 内容

- 1) イントロダクション（講演者の紹介と狙い）
権田 幸祐（数分）
- 2) 金ナノ粒子を用いた腫瘍組織のX線イメージング
権田 幸祐（25分）
- 3) 放射光による組織イメージングの最前線
矢代 航（30分）
- 4) 放射光を使ったがん病理組織解析～抗がん剤のヒト腫瘍内分布の可視化～
西堀 麻衣子（25分）
- 5) 放射光を活用した細胞・組織イメージング
八木 直人（30分）
- 6) 総合討論（5分+ α ）